

参加国：日本、韓国、モンゴル、フィリピン、パプアニューギニア、ミャンマー

目的：韓国における貧困世帯への支援の現場視察、各地区の23年度後半報告と推進される世界NCMを中心にした国の枠を超えたプロジェクトへのファイナンスについて篠澤は、3日目からのスケジュールに参加。



5月27日、関西空港へ。
関西国際空港から韓国（インチョン）までは1時間半のフライト。
今回は現地集合という事もあり、仁川空港から現地のホテルまでは地下鉄移動。片道切符もすべてIC化され、移動もスムーズ。電車の優先席などが徹底されているのが印象的だった。



5月28日 国の枠を超えたプロジェクトへのファイナンスについて
国際公認会計士でアジア太平洋地区 NCM (APNCM) プロジェクトファイナンス担当：アラム氏より、ファイナンスについてのレクチャーその後、フィリピンの子ども支援担当者：リリアン
フィリピンにおける子ども支援の報告

APNCM 子ども支援責任者兼ミンダナオ部会理事長：ダンバラヨ牧師先生より APNCM での子ども支援について報告。アジア太平洋地区では教会と NCM は子ども支援に大きな力を入れている。



島
ア
も





NCM ジャパンにおける、子ども支援と京都生協とのフードバンク支援についての報告。

会場は、韓国ナザレン本部。2年前に改修工事を行った。



本部は、会議室、事務室、カフェテリア、資料室などで構成されている。



<韓国フィールド ユン牧師先生>

ホスト国韓国の NCM 責任者。

26 年前に遣わされた教会は過疎地で、教会財政も人員も大変不足していた。そこですべきは地域へ仕える事だったとの事。

22 年前より 1 人でフードバンク活動を行い、現在ではコストコやコカ・コーラなどの大企業のメーカーや卸売メーカー、行政との繋がりも強固になり、現在は仁川地区を中心に毎週、1 トンを超える支援がなされている。

会議は朝 8 時～夜 8 時まで行われた。

5月29日、フィールドワーク。ユン先生が行っているフードバンク活動の視察と体験。



現地で行われたシステム化された物資配布は、NCM ジャパン京都事務所が行っている「コンパッションデイ（貧困世帯への物資配布）」と親和性が高く大変参考となった。

韓国 NCM ではこのような過疎地での物資配布と共に、物資を取りに来た高齢困窮者への送迎、都会では物資倉庫を完備した事務所を設立すると共に常設配布物件を有している。現在は、ナザレンの他の教会も協力しその規模を年々大きいものとなっている。



フィールドワーク後はユン先生の教会を訪ね、特別礼拝をおこない共に聖餐の儀に与った。





大学の学長との面会やキャンパスツアーを開催して下さった。

韓国ナザレン大学は障害者への高等教育に力を入れており、日本からも留学生が学びに来るほど。現在は視覚障害者のシステムエンジニアの育成に力を入れている。



ナザレン大学の障害者教育については
こちらからどうぞ。



韓国ナザレン大学の紹介映像はこちら。



5月31日

全ての会議、フィールドワークを終了し帰国の途へ。

次回はフィリピン・ミンダナオ島での会議の予定。ミンダナオ島では民族紛争におけるキリスト教やイスラム教の宗教対話も実施されている。

報告者：JNCM/NCM ジャパン（花園教会牧師） 篠澤俊一郎